



2011/2/9

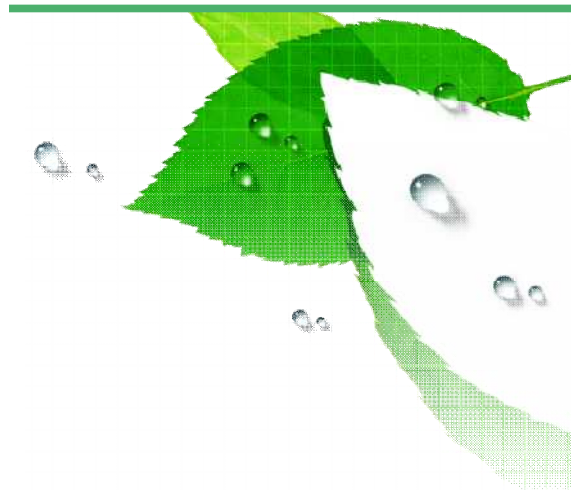
医療情報化促進 提案資料



慶應義塾大学SFC 研究所 上席所員(訪問)

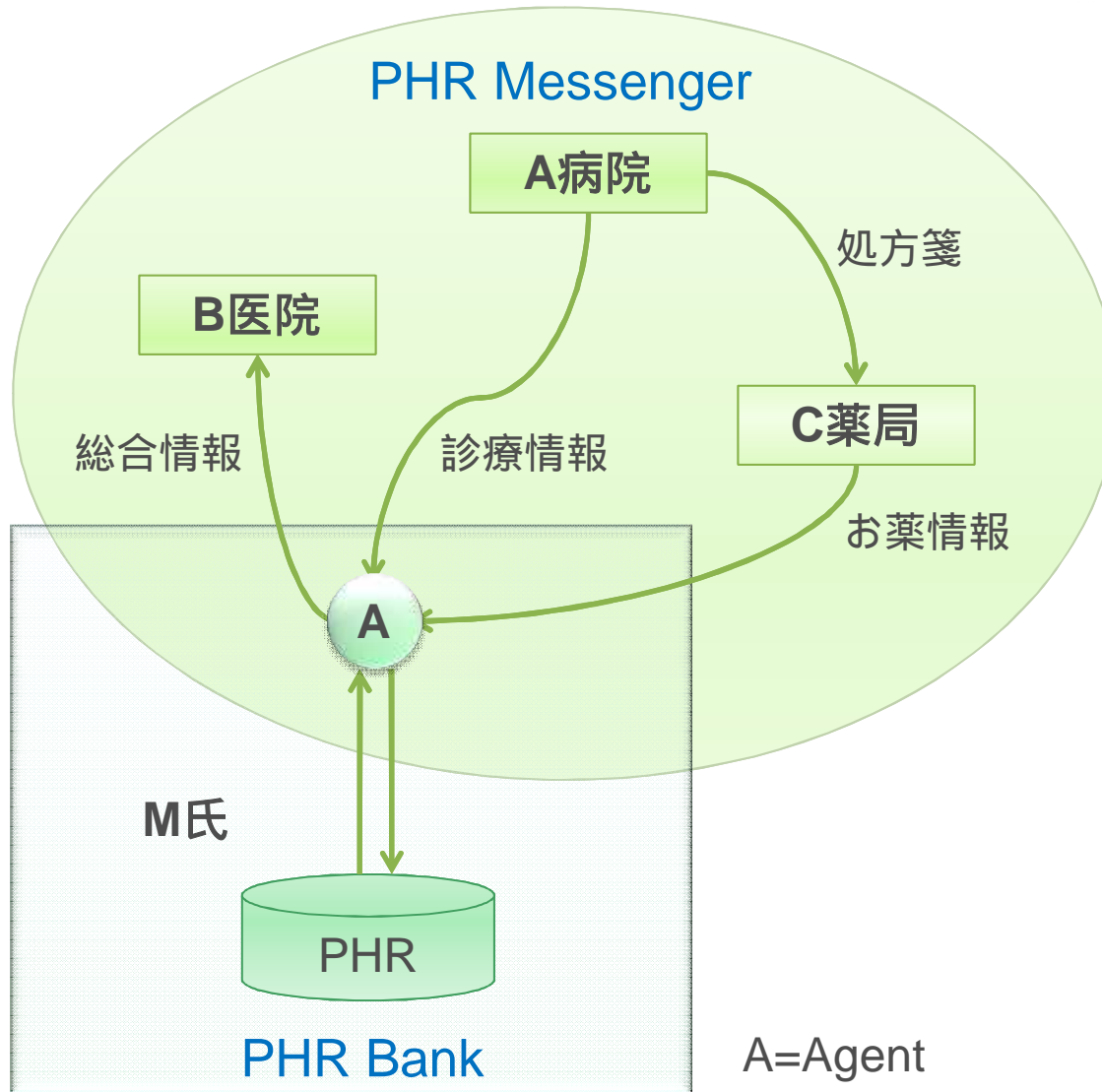
野田 啓一

提案1



セキュア情報連携と患者中心の情報制御
を実現する基本技術

基本概念 (FlowとStock)



フローとストックを区分することによりセキュリティレベルを明確化。

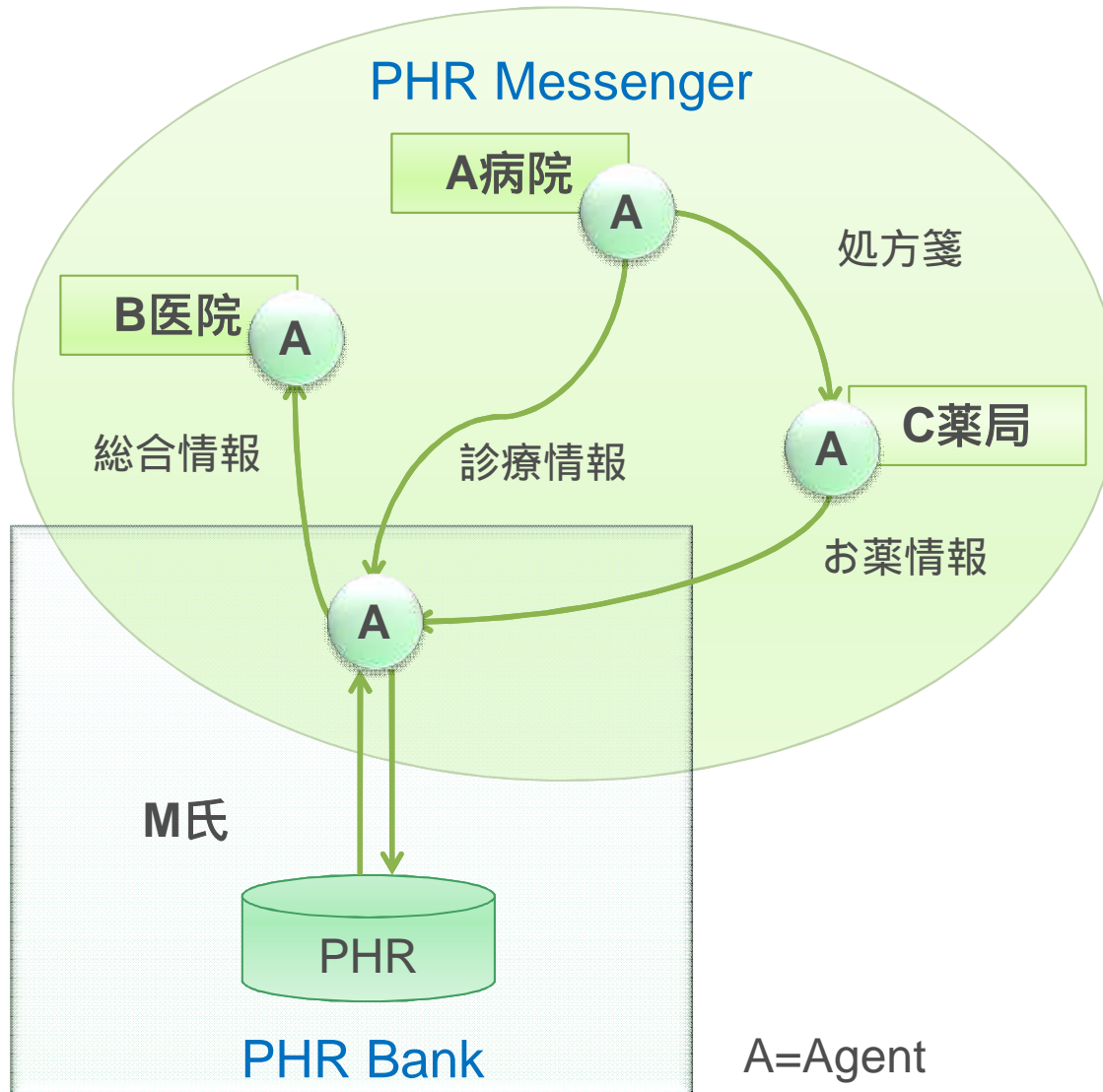
PHR Messenger

医療機関や患者の事象に伴う情報伝達など一時的な情報のフローを実現。サービス提供者毎のセキュリティ管理。

PHR Bank

フローからの情報を患者単位にストックおよびストックの入出力を実現。患者自身によるパーミッション制御。

基本概念 (Agent連携)

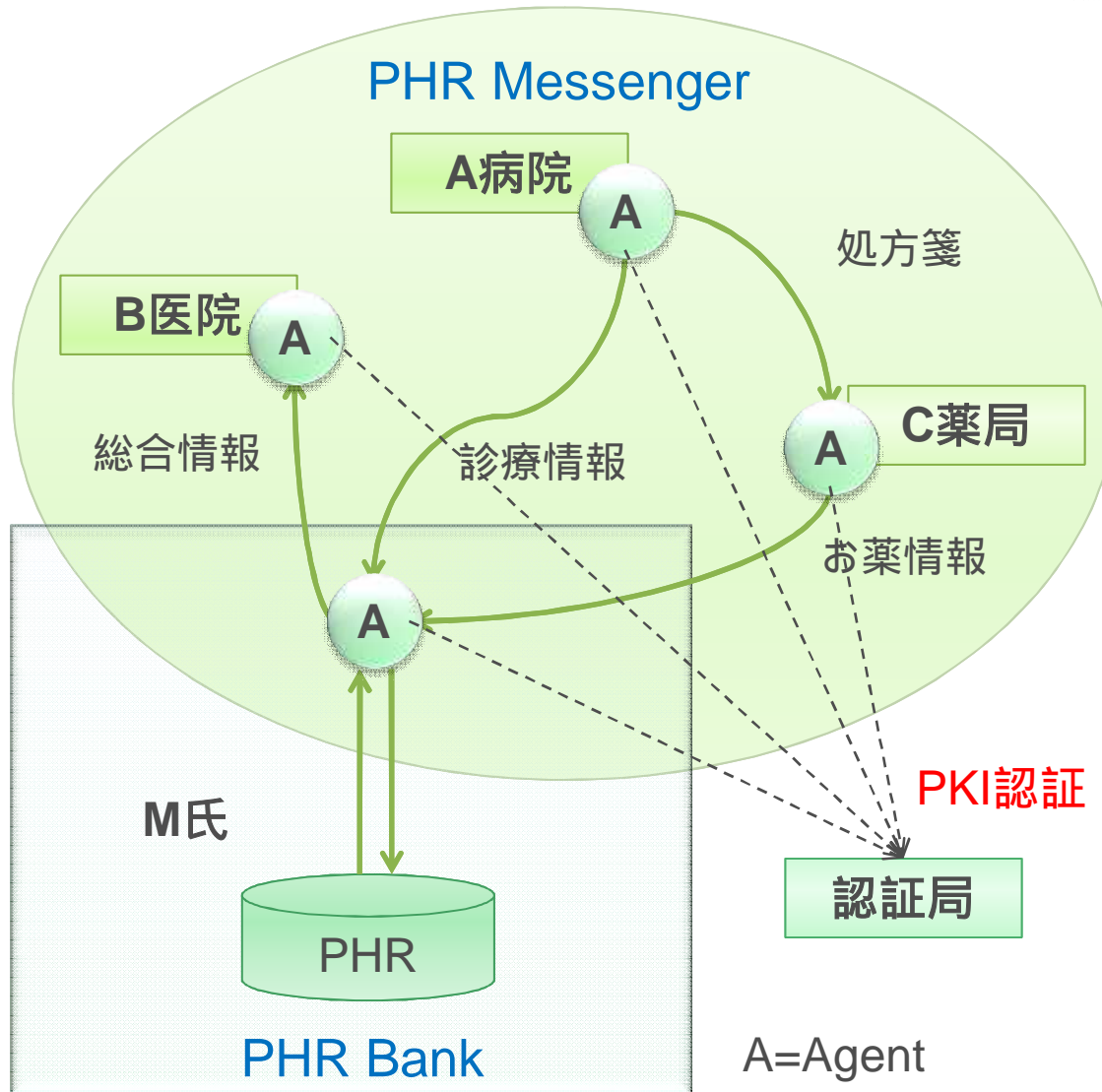


Agent連携

医療機関の電子カルテやレセプトコンピュータにAgent機能を設置。

- ・関連機関の相互認証
 - ・セキュアな情報交換
- 機能を提供する。Agent機能により各システムの独自性を維持、分散型ネットワークによる医療機関毎の負担軽減を目的とする。

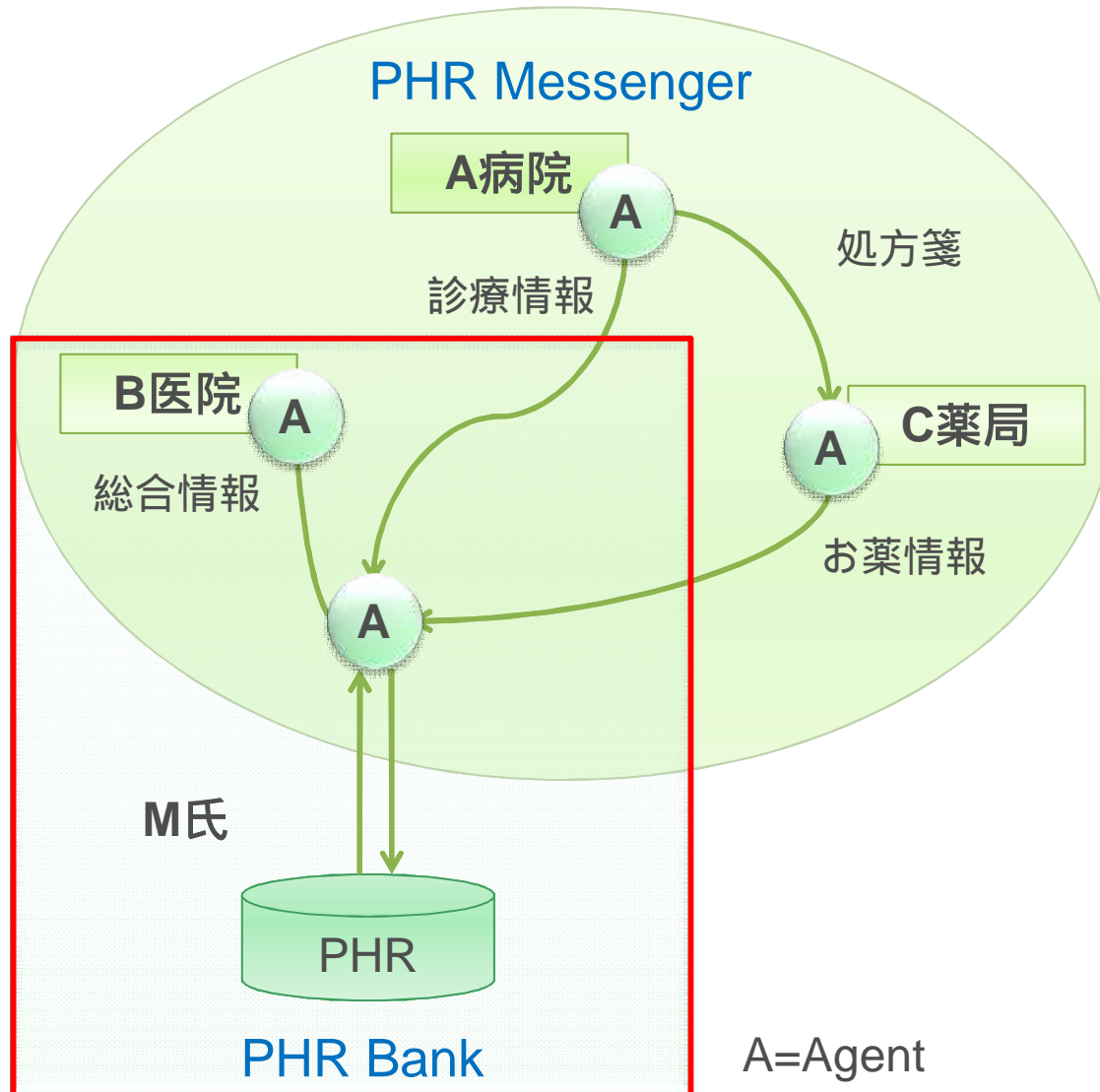
基本概念 (AgentとPKI)



AgentとPKI

・医療機関
・患者個人
をそれぞれ一意に識別するため、各AgentはPKI認証による本人性が検証される。各医療機関や患者個人はPKI認証により本人性が検証された場合、Agent間のネットワークに参加可能とする。

基本概念 (Flexibility)



Flexibility

Health Bankの運用主体を患者個人が任意に選択可能(左記の例ではB医院を運用主体として選択)。かかりつけ医、薬局あるいは介護施設など運用主体を柔軟に選択可能とすることで多様なサービスの可能性が広がる。また、運用主体が継続困難となる場合にも他事業者への継続が可能。

Agent共通技術開発



❖ PHR Messenger機能

- PKI認証
- 患者検索、医療関連施設検索
- PHR情報交換

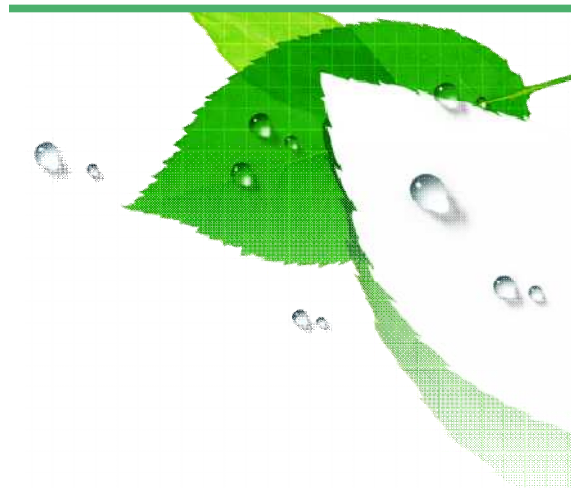
❖ PHR Bank機能

- PHR情報入出力
- パーミッション制御

❖ 利用者インタフェース機能

- ICカード認証インタフェース等

提案2



レセコンを中心としたPHR連携
(診療情報・調剤情報管理)

レセコン情報連携



病院・医院のレセコン

- ・診療履歴登録
- ・電子処方箋送信



病院・医院

電子処方箋



調剤薬局のレセコン

- ・調剤履歴登録



調剤薬局

調剤履歴

診療履歴



病院・医院、介護
施設の情報端末

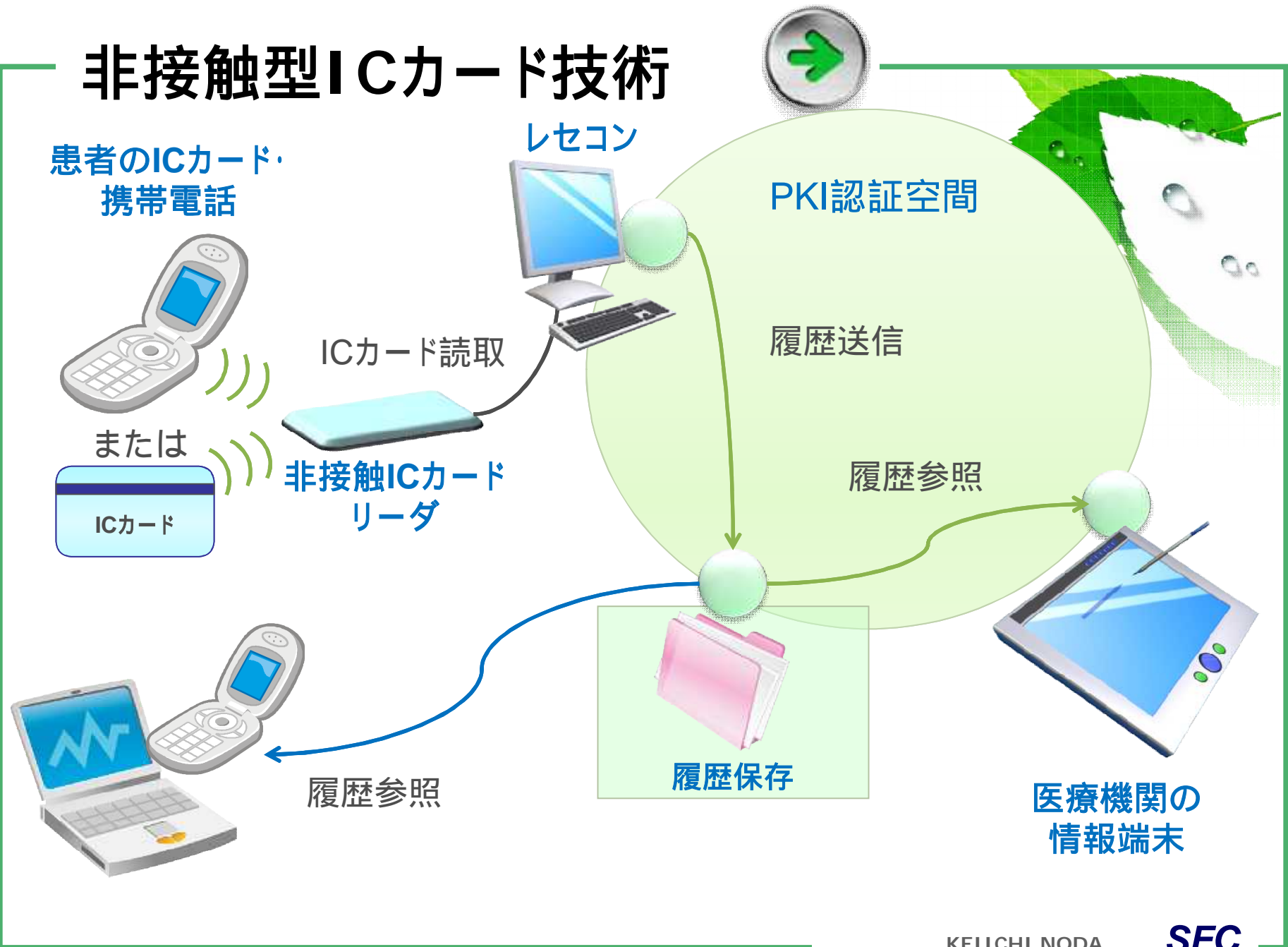
患者医療情報

患者の携帯端末

患者履歴保存



非接触型ICカード技術



統合レセコン開発



❖ どこでもMY病院連携機能

- 患者との接点(非接触ICカードインタフェース)
- 患者、医療従事者認証(PKI認証)
- PHR情報交換

❖ レセプト機能

- レセプトオンライン機能

医療従事者への インセンティブ



❖ 病院医院、調剤薬局共通のインセンティブ

- レセプトオンライン請求
 - レセプトオンライン化
 - レセコン導入への選択肢(導入コスト)
- 病院・医院間情報連携

❖ 調剤薬局固有のインセンティブ

- 販売管理との連携による事業効率化
 - 保険調剤以外の商品販売
- 薬剤情報提供料(将来期待)

レセコンサービス事業



❖ レセコン端末の貸し出し

- 端末+プリンタ+ネットワーク機器

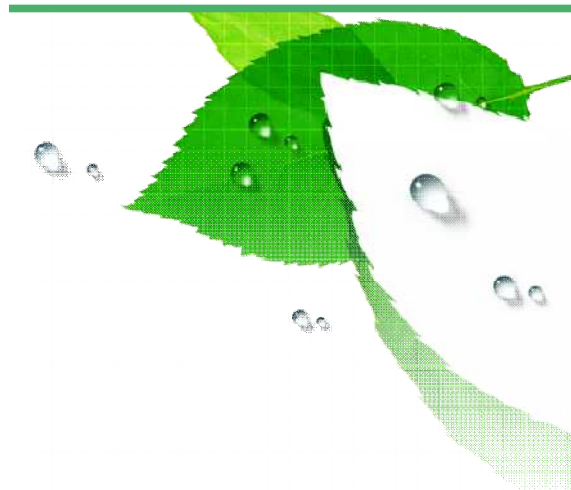
❖ 運用サービス

- PHR情報連携
- データベース更新(薬剤、診療情報)

❖ 医療従事者からの収入源

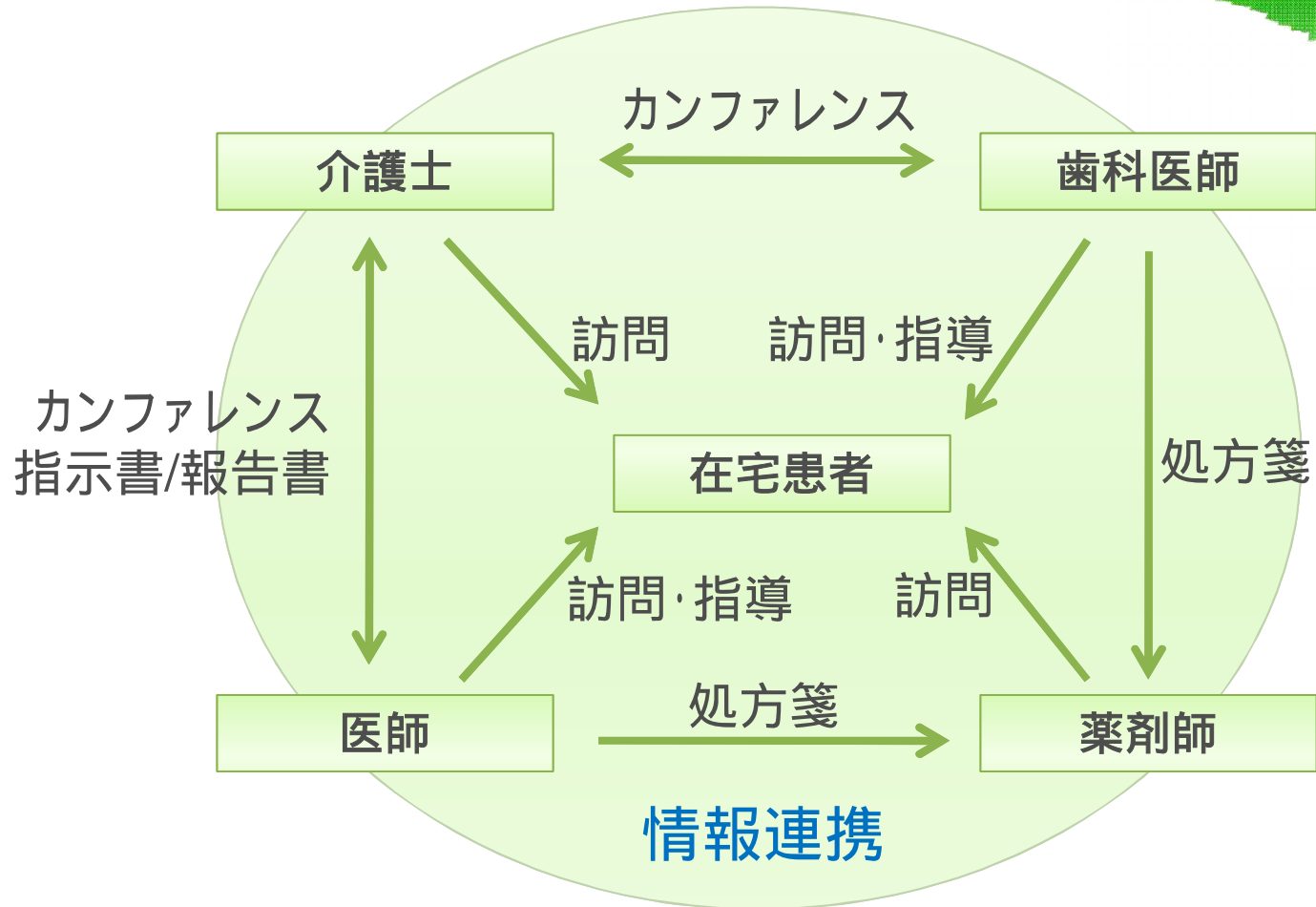
- 端末、回線使用料

提案3



在宅患者、要介護者ケアへの応用

在宅患者ケア情報連携



病院・医院、介護施設向け情報端末開発



❖ シームレス連携機能

- 患者情報検索
- 医療従事者情報検索
- 患者、医療従事者認証 (PKI認証)
- PHR情報交換
- 指示書、報告書連携
- カンファレンス機能

❖ 辞書機能

- ジェネリック医薬品辞書機能

病院医院、介護施設への インセンティブ



❖ 病院・医院へのインセンティブ

- 患者情報の把握によるリスク軽減
 - 現在の調剤情報、既往歴の確認
 - 介護報告の確認
- 在宅患者指導としての情報共有
 - 在宅患者指導料
- ジェネリック医薬品情報の検索向上

❖ 介護施設へのインセンティブ

- 指示書、報告書連携
- 病院、医院との患者情報連携

メッセージャーサービス事業



❖ 病院・医院、介護施設向け端末の貸し出し

- 端末 (iPad、iPhone等)

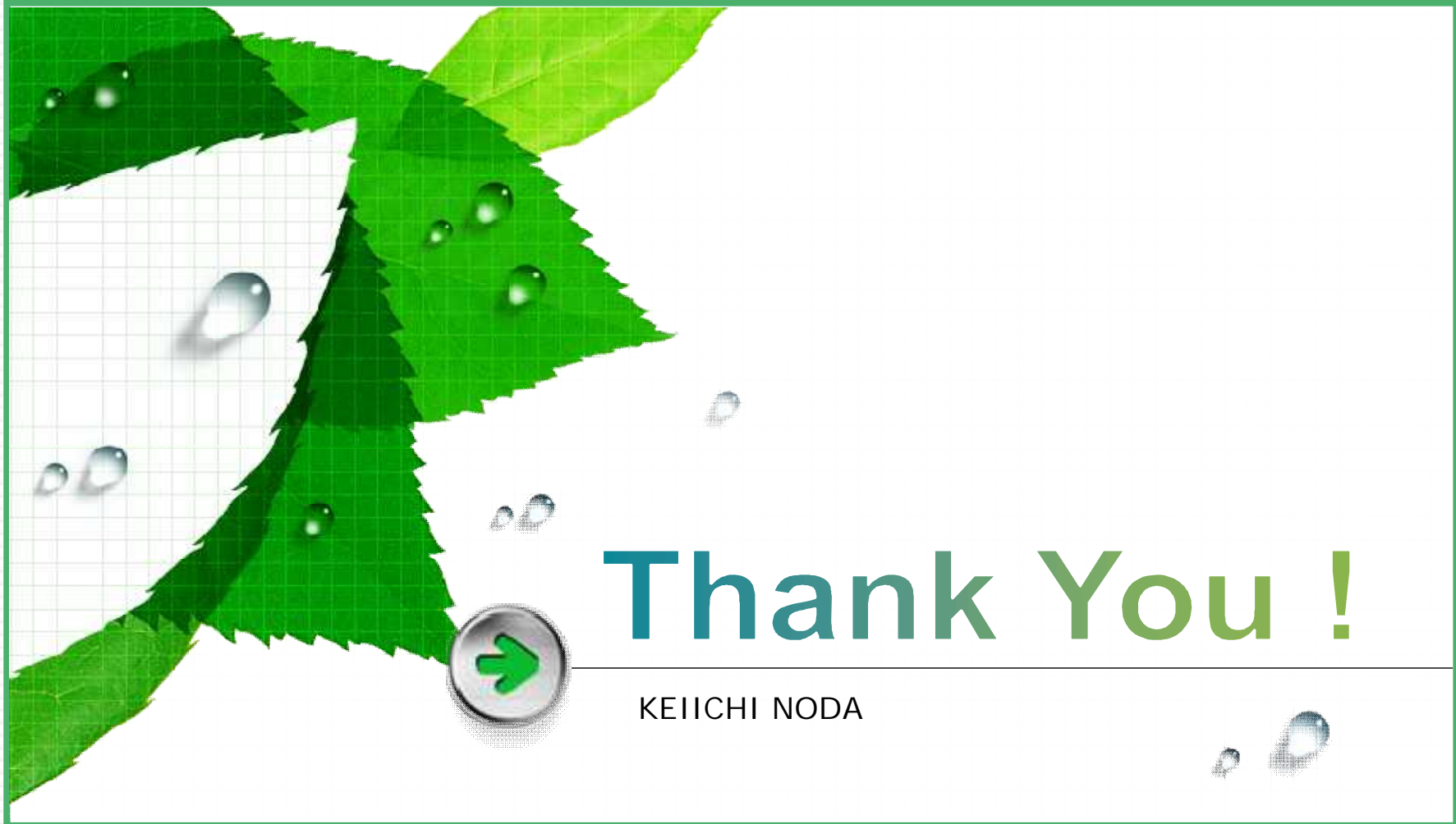
❖ 運用サービス

- セキュアメッセージャーサービス (患者情報)
- データベース更新 (薬剤情報)

❖ 医療従事者からの収入源

- 端末、回線使用料

SFC



Thank You !

KEIICHI NODA